

＜校務利用＞ ⑦ 校務利用としての様々な活用事例

校務（ChatGPT等）

教材研究（課題作成・問題作問・模擬授業）、保護者・生徒への文書たたき台・例文作成、文書要約、研修スライドたたき台作成、プロジェクト・アイデア創発トレーニング

教師のクリティカルプロンプト!!

「生徒が自分の考えを広げたり深めたりしている姿」を各教科担当が授業のある単元をイメージしながら、事前に作成した対話型の**模擬授業プロンプト**に、課題を記入し、生徒同士がどのような対話を行うか、Chat GPTに尋ねました。課題の出し方によって、対話が弾んだり目標に迫ったりする一方、課題が明確ではない場合、対話が弾まず、一問一答のような対話になっていました。後者のような課題の場合、実際の授業において生徒も課題解決に向かって、思考力が高まるような対話はできないことが予想できます。教師の**課題づくりの支援**となると感じました。

- T You**
- #（役割） 1.日本の中学校の生徒Aと生徒B
 2.相手の話を聞いて自分の考えを広めたり深めたりする姿勢 3.一問一答にならないような課題解決のためのヒントを出し合う
- #（形式）対話形式と表形式
- #（依頼）バドミントンの授業で、課題『色々なショットをしながら相手との攻防を楽しもう』を解決するための生徒Aと生徒Bの対話の例を教えてください。
- #（実行シナリオ）
- 1 課題に対して#（役割）#（依頼）を確認して回答してください。
 - 2 対話形式で思考が深まるような質問をしながら課題を解決していく。
 - 3 生徒Aと生徒Bの思考が深まったと感じたら最後に#（表形式）でまとめてください。

生徒A: そうだね、面白いショットを使ってみるのもいいけど、相手のショットも読まないよね。どうやって相手の動きを読むのがいいか考えよう。

生徒B: そうだね。相手の動きを読むには、彼らの体の動きやラケットの角度を見るのが大切だね。それに対して、どういう戦術を使うかも考えないと。

生徒A: そうだね。相手がスマッシュを打つと読んだら、ドロップショットを返すとか。でも、どうやってその瞬間を見極めるのがいいんだろう？

生徒B: それは難しいけど、相手の動きやラケットの角度だけでなく、彼らの前回のショットからも予測できるかもしれないね。前回がスマッシュだったら、次もそれを狙ってくるかもしれないし。

表形式

考え	生徒A	生徒B
ショットの選択	色々な面白いショットを試す	楽しさを重視しつつ、戦術的なショットも考える
相手の動きの読み	体の動きやラケットの角度、視線、足元の動きを観察	相手の前回のショットや視線、足元の動きから予測する
戦術的なアプローチ	相手の予測を外して戦術を練る	相手の前回のショットや動きに合わせて戦術を選択
逆をつくプレー	予測を外すために予想外のショットやリズムの変化を取り入れる	相手が期待していない方向にショットを打ったり、リズムを変えて相手を混乱させる